# 登録地域建造物資産

第95号

## 鬼頭勘兵衛宅長屋門

きとうかんべえたくながやもん

| | |
|---|---|
| 所在地 | 港区春田野3丁目20 |
| 年代 | 江戸期築、平成6年移築 |
| 用途 | 門 |

国道302号と東海通が交わる南陽中学校交差点の南西に立地する南陽神社、その社殿の北を守るように長屋門が鎮座する。江戸初期に二万石余の新田開発に尽くした鬼頭景義の子孫は、代々勘兵衛を名乗り、この地に屋敷を構えていた。太平洋戦争で屋敷の建物は焼失し、唯一残ったこの長屋門を移築保存しているそうである。南陽神社自体、当地出身の戦没者をまつる神社であり、境内には明治天皇行在所の碑、伊勢湾台風犠牲者の慰霊碑、南陽町役場跡の碑などもあり、地域の精神的な中心となっていることを感じられる。